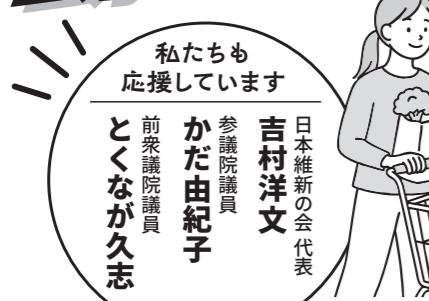


# 日本維新の会 動かすぞ、新しい顔が。



**Profile**

- 2025年参院選滋賀県選挙区に立候補
- とくなが久志、かだ由紀子両議員元公設秘書
- 元中日新聞大津支局の記者として社会人人生をスタート

学歴 麻布高校、東京大学法学部  
趣味 合唱、スキー、将棋観戦、温泉、居酒屋巡り  
特技 写真、剣道初段、ボードゲーム  
好きな食べ物 トマト、みそ汁、発酵食品  
(好き嫌いは一切なし!)

## 現役世代を守る

- ・最大の負担である社会保険料を引き下げる
- ・支出のムダを見直し、将来も持続可能な医療や年金・介護制度に
- ・教育・子育て・出産・不妊治療への支援・助成を拡充



## 物価高から暮らしを守る

壁のない所得減税と給付金を組み合わせる「給付付き税額控除」導入  
食料品消費税を2年間ゼロにする検討を加速

## 滋賀を守る

- ・副首都法案と地方分権で、首都圏に並ぶ元気な関西圏を創る
- ・公共交通への徹底投資と空き家対策を促進
- ・北陸新幹線、米原ルートを含めた再検証を進め湖北活性化へ

## 日本を守る

- ・自衛隊員の待遇改善、国際情勢に合った防衛力強化を進める
- ・無秩序な外国人受け入れを抑制し、ルールを作る
- ・メガソーラーや大規模風力の規制で森林伐採や災害リスクを防ぐ

## 政治家は襟を正す

- ・議員定数削減1割削減を次期国会で実現
- ・企業・団体献金の全面禁止で公平な政治を実現



×  
演説会告知  
などはこちら!



YouTube  
毎日配信中!

今、私たちには危機があります。それは急激な人口減少です。私の生まれた1992年、121万人の子どもが生まれました。それが今親世代となり、昨年生まれたのは66万人。一世代で半分近くに減りました。新聞記者として滋賀を歩き、地域の現場の課題を見つきました。人手不足で企業の倒産は過去最多。空き家が増え、バスや電車の減便・値上げも続いている。人口が減ったとき、ます暮らしに影響を受けるのは地方です。働き手が減り、医療や年金制度が持たなくなれば、わが子や孫たちの未来も守れなくなります。この危機感から、会社を辞めて昨年夏の参議院選挙に挑戦をしました。

それから半年、維新が連立に加わったからこそ、動き始めた改革があります。社会保険料の引き下げが政府の総合経済対策に明記され、社会保障の国民会議の設置が決まりました。税金のムダ遣いを見直す「租税特別措置・補助金見直し担当室」も始まりました。ガソリン減税や電気・ガス代の補助など、物価高対策を実現できました。政治家自らが襟を正す、議員定数削減の法案が国会に提出されました。外国人問題に対応する担当大臣も新設され、国民生活を守るルール作りもスタートしました。

そうした中、政治の師の一人である徳永久志前代議士から、今回の衆院選の出馬を断念するとの話を受けました。まずは驚き、残念な思いもありました。しかし、師の弱り自を黙つて見過ごすわけにはいきません。その志を受け継ぐためにも、この機に再び国政に挑戦します。

「若い人が頑張らんとあかん」と、たくさんの方から激励を頂いてきました。今まで長年同じような政治が続いてきた中で、地方は疲弊し、人口が減る一方で古い政治は、上手くいかなかつたのです。それを間近で見てこられた有権者の皆さんにこそ、新しい顔、世代交代に期待頂けるのではないかと考えています。選挙は国民が政治を動かせる最大のチャンスです。おかげ京佑、全力で頑張ります。一緒に日本の明るい未来を創りましょう。皆さんのご支援どうかよろしくお願い申し上げます。

同じ顔、同じ政治…  
動かすなら世代交代。



日本維新の会  
おかげ京佑  
きょう すけ  
33歳